

【広報】を振り返つて



第6号(拡大版)

発行:金武町教育委員会
住所:〒904-1293 沖縄県
国頭郡金武町字金武7758
TEL:098-968-2991
FAX:098-968-4963
E-mail:yukio_g@town.kin.okinawa.jp

教育行政功労者として表彰

この度のこの名誉ある『教育行政功労者』は、地方教育行政において顕著な功績のあるものを表彰の対象としています。地方行政において、その功労が顕著な教育委員会の委員を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方行政の発展に資する。と言う趣旨をもって表彰されたのです。



教育行政に携わる教育委員会職員一同、この度のこの表彰に對し誇りに思い、敬意を表するとともに大変励みになるものであります。

そこで、改めて前教育長比嘉邊利様の略歴と教育行政に携わった間の功労について紹介させていただきたいと思います。

【略歴】

平成十一年六月二十一日

金武町教育委員会教育長に就任

平成十九年六月二十日

金武町教育委員会教育長退職



の比嘉邊利様が、教育委員会を
訪ねられ、その時表彰の報告が
ございました。

新年あけまして
おめでとうございます。
旧年中は、金武町教育委員会
「広報」創刊から五号まで発行
の間、忌憚のない叱咤激励等々が
多くの方々から寄せられました。
これまで皆様から寄せられた
叱咤激励に反省し、時には励ま
されてきました。

「金武町の宝である子どもたちの未来に希望が持てるよう
に」を心に、町内小中学校の取組みや抱える課題や問題等々を
載せて、金武町民の方々に町内
小中学校の現状を知つてもらう
ことで、協力や連携が図られ
ばと願つておりました。
編集員一同、金武町に寄せる
思いが金武町教育委員会「広報」

を通して金武町民に伝えられて
いるか、あるいは果たされてい
るか不安な気持ちはありました
が、発行を重ねるごとに、金武
町民の皆さんからいたいたご
意見や助言を踏まえ、まだまだ
拙い文章構成の編集ながらも、
徐々にでも改善されているよう
に思われるのですがいかがで
しょうか。

今年も教育委員会「広報」が
より多くの方々に読まれること
で、町内幼稚園、小中学校の取
組や学校の抱える問題や課題に
理解や関心を持ってもらい、協
力や支援が得られればと願いつ
つ、今年もご指導ご鞭撻を賜り
ながらも、より工夫改善された
「広報」を目指し頑張って参り
ますので、どうぞよろしくお願
いします。

【功労の内容】

一、教育長在任八年の間、学校で抱える問題や課題等の解決に尽力されました。

他に、数学助手、学校教育相談員、特別教室の指導員助手等々を配置するなど、学習環境の整備にも尽くされました。

二、剣道部の指導を通し、心身の鍛練や技能を向上さることで児童生徒の健全育成にも貢献され、地区大会優勝にも導かされました。

三、退職後は、毎朝子ども達の登校時の交通安全指導にも携わっています。

これ今まで、児童生徒への思いを原動力に活躍なされていることを心より感謝申し上げます。

そして、アンケートを実施し、意見文を書いてもらいましたので、無記名で紹介したいと思いります。壊された壁の修復作業については、各学級の代表で、修

町内小学校・中学校 の取組や活動

『金武中学校学校便り(雄飛)から』

一階廊下の壁壊される

みんなで考え方

(アンケートから)

十一月十九日（水）～二十一日（金）にかけて、一階エレベータ横の壁が壊されているのが見つかりました。（最初は下のみ、二日後に上）

★学校はみんなのものなのに、ひどいことをするなあと思いま

した。また、学校は安心して勉強する所なのに、こんなことがあるいやなき持ちが強くなり、勉強に集中できないとも思いました。

★壁がかわいそうだと思いました。なぜ壁を壊したかは分からぬけど、むやみに物を壊したりするのはいけないことだと思います。

★工事をしてきれいなエレベー

タの壁をつくったのに、良くないと思いました。

学旅行から帰ってきてから行う予定でいます。

アンケートの 意見文から

★壁が壊されているのを見て、とても嫌な気分になった。授業参観で、親がこれを見たら、

この学校は物を大切にできないんだと思う。そう思われるのは嫌だ。

★みんなのお金を使って、公共の学校をついているのに、壁を壊すなんて、みんなの気持ちを考えて欲しいと思う。自分たちの学校を傷つけるなんて良くない。学校はみんなできれいに使えばいいと思う。

★壊された壁は、みんなの目にはいるところで、とても嫌な感じがした。エレベーターを利用する人もそう思つたと思う。二度とやらぬいで欲しい。

★ストレスたまっているのかなあ。学校はいろんなところを、私たちのために直していくのに少し悲しい。

★公共物を壊して責任を感じないのかなあと思った。とても残念です。

なでがんばって取り組んでいるのに、みんなの意欲をなくさせるようなことはやめて欲しいと自分は思いました。

★大工さん達が、一生懸命つ
くったのになんで壊すんだろ
うと思った。

とても残念

ここに書ききれないぐらい、「とても残念だ」「嫌な感じがした」「いけないことだ」という内容の生徒のみなさんの意見が多く出ていました。

自分がおもしろくない
からと言って、みんなが生活している学校の壁を壊すという行為は間違っています。このような行為は自分をダメにするし、みんなにイヤな思いをさせるだけだということが、良くわかったのではないかと思います。人間としての理性を持ち、やつていいこと、いけないことの判断のしつかりできる人になって欲しいものです。

先生方も、ショックを受けています。金武中で、このような器物損壊が二度とないように、

みんなで考えていきましょう。

『嘉芸小学校便り(嘉芸つ子)から』

平成二十年、最後の月となりました。二学期まとめの時です。

本校では、学力を向上させる

ために

・相手の話をしつか
り聞く

・丁寧な言葉遣いを
する

・家庭学習の習慣化
を一事徹底として
取り組んで来まし
た。



“認め” “励まし” “褒めて” 育みましょう

今、学校では「自分の考え方を書くこと」を頑張っています。先月二十五日には、二年生担任大城正江教諭が「学ぶことの喜びを味わえる学習指導の工夫—『書く』活動に重点を置いた指導を通して—」をテーマに校内研究授業を行いました。国頭教育事務所の伊波和子先生よりたくさんのご教示をいただきま

した。

新学習指導要領では、思考力、判断力、表現力を高め、生きる力を培うために、全ての教科等において言語活動を充実するこ^ととされています。

「書くことは、より確かに理解したり、考えを深めたりすることができます。また、より筋道立てて話すこともできます。さらに、考えを表現し合い、認め合い、人間関係を豊かにすることができる、言語活動における中心的な役割を果たします。」授業では、「生きものふしぎ図かん」を作ろう」と、どの子もスラスラと鉛筆をはしらせていました。これは、日頃から「がんばりノート」等でご家庭と担任との間で「認め」「励まし」「褒めて」育んできたことが功を奏したものと思われます。二月、子供の「自信」につなぐ「褒める言葉」をプレゼントし

嘉云つ子大活躍

★【あめでとう!】★

JJA共済全国小学生書道コンクール

・半紙の部

優秀賞

やましろ あさひ (一年)

優良賞

まあだ はるか (一年)

佳作

山城 韶 (三年)

大城 唯華 (二年)

島本 明日香 (二年)

金城 美紅 (五年)

・条幅の部

優秀賞

まあだ はるか (一年)

糸村 昌紀 (三年)

金城 美紅 (五年)

優良賞

山城 韶 (三年)

仲間 百香 (三年)



「残したい金武町の風景」
写真・絵画コンクール

・絵画の部

優秀賞

赤山 日菜乃 (五年)

※広報「金武」十一月号に掲載



愛華・海理さんの おじいさま ありがとうございます!!

运动会の後、また
また、草が伸び放
題・
愛華さんと海理さ
んのおじいさまが、
運動場ばかりでな
く、校庭の隅々まで
できっぱりと。
ありがとうございます



十月二十七日(月)に屋嘉

区のさわやか老人会のお招きで

三年生が交流会をもちました。

リコーダーとダンスと歌をプ

レゼントしました。大きな拍手

とおみやげを頂いて帰りました。

「とっても、楽しかった。また、
持ちたい」との感想です。

八月八日、北京オリンピック
開催日に田植えをして、八十三
日目の十月二十九日に稻刈り



天日干し後、十一月二十日に
脱穀・・もうすぐ、おいしいご
飯にたどり着きそうです。

この間、農協金武支店の池原

直利様、宜野座 洋様、安富祖

保一様よりあたたかいご指導を

賜りました。ありがとうございます

ました。



研究発表会 二年次

「金武小学校学校便り(碎啄同時)から」

十一月二十八日に県・町教育委員会指定「体育・ス。ボーツ推進校」の二年次研究発表会を開催しました。

【公開授業】

三年二組：とひはこ遊び
五年二組：タグラグビー

(運動場)

この一年半の取組の経過・実践内容を報告し質疑・応答そして教育事務所指導主事の指導助言を受け、次年度に向けて成果と課題を踏まえて取組を充実させていきたいと考えています。



研究発表

ボール投げ、では県、国の平均を大きく上回り運動能力の向上がみられました。体力向上も学校課題の一つでありましたがほぼ改善に向けて動き始めました。

三年二組、一日で体に必要な野菜はこれだけ（多すぎる）炒

訂正・お詫び

部活動は好きなスポーツを通して体を鍛えることができる上同時に人間関係を身につける上で良い機会です。全身を動かして好きなことができる事・スポーツそのものを楽しむ事が子どもの成長・生きる力の源になります。その意味で学校としては部活動を放課後の居場所づくりも含めて推進しています。

残る大きな課題、学力向上に向けても取り組んでいるところですが、残念ながら改善が見られません。今回、授業への保護者の参観はある程度いらっしゃいましたが、発表会への参加が極めて少ないので、残念でした。三学期に学校説明として学力向上と今回発表を加えて会を設定したいと考えています。

やすいよう工夫しています。残
さないように食べてください！
とT②の城田先生（給食セン
ター栄養士）T①担任の名嘉直
先生で見事な授業実践となりま
した。

北部支部讀書感想文

四年：仲田梨乃さん

【圖画の部】

四年：池原はなこさん

【書道の部】

七
三

【図画の部】	優良賞
二年：仲田美来さん	
五年：神里玲香さん	
【作文の部】	
四年・仲田梨乃さん	優良賞
部活動の練習と 帰宅時間	
部活動は好きなスポーツをして体を鍛えることができ 同時に人間関係を身につけて良い機会です。全身を動かして好きなことができる事 ポーツそのものを楽しむ事 どもの成長・生きる力の源になります。その意味で学校 では部活動を放課後の居場 くりも含めて推進していくま 金武小学校では、バレー	

【書道の部】	します。
優良賞	四年：池原はなこさん
【図画の部】	五年：神里玲香さん
【作文の部】	四年：仲田美来さん
優良賞	五年：神里玲香さん
部活動の練習と 帰宅時間	四年：仲田梨乃さん
部活動は好きなスポーツを通して体を鍛えることができると同時に人間関係を身につける上で良い機会です。全身を動かして好きなことができる事・スポーツそのものを楽しむ事が子どもたちの成長・生きる力の源になります。その意味で学校としては部活動を放課後の居場所づくりも含めて推進しています。	金武小学校では、バレー、バ

スケット、サッカー部は冬時間を設定し練習時間を六時までとし、門を出る時間を六時十五分として実施しています。

先日イーグルスの代表者とも話し合い、同様に十二月十五日（月）から実施することになりました。金武小学校で活動している部員の保護者の皆さんも時間に合わせて迎えをお願いします。（車の混雑回避のため）

	練習終わり	片づけ等	門を出る
冬時間	6:00	～	6:15
夏時間	6:15	～	6:30

※子どもの安全・家庭学習時間・睡眠時間の確保面から監督・コーチ・保護者の皆さんご協力をお願いします。

【頑張りノート努力賞者】



丸政工務店より寄贈

塀沿いに看板

『中川小学校便り(中川つ子)から』

大型テレビ設置について

今年度より、町内小・中学校ではインターネットを活用した教育ソフトを整備し活用しています。十二月十一日（木）早朝より中川小学校で大型テレビの選定にあたって、実際に教育ソフトを活用した授業を参観しながら適正なサイズを決めるこにしました。

当日は、授業前活動の参観に教育委員長、松田小学校教頭先一年・金城妃奈乃、仲田彩奈安富祖龍斗



続いて、インターネットによる国語の朝学習、大画面の中でプロの先生が進める授業に集中して聞き

二年：高江洲エミリ、仲村稜貴
四年：喜屋武紗里奈、佐藤瑠奈
六年：松堂明華莉、佐藤樹音
五年：知念海晴、伊芸瑞穂
六年：吉田海斗
山畠 結、比嘉優斗
土谷陽菜、大城 恵
仲間萌絵
宇久田菜月、山城奈々美
前泊奈岐、又吉倭子
伊芸菜奈子

子ども達が修学旅行・社会見学見学を行っている間に、立派な立て看が完成しました。丸政工務店さんのご厚意で「学校案内表示」を作っていました。丸政工務店さんと「四つのいっぱい」の表示が完成しました。

これで、中川小学校やーいと探し回ることなく、初めてのお客様も困ることはありませんね。丸政工務店さんありがとうございました。

授業前活動の一つである読書が終わり、参観が始まりました。丸政工務店さんと「四つのいっぱい」の表示が映し出されたタイマー、静寂で張りつめた教室の中で、一人一人が、真剣な面持ちで鉛筆を動かす音のみが響く、集中力の高まるこの取組を毎朝繰り返していれば、計算力が付くと強く感じました。

生、町内先生方、教育委員会学生が進める授業に集中して聞き

参観が終わり、多目的室で大型テレビのサイズを選定するにあたって、話し合いが行われ、各校における学級の空間サイズ



生は、「以前は小さいモニターで進めていたので、子どもたちがモニターに寄りすぎ、落ち着かず、集中力の途切れる子どもが出てくる状態だった」と言う話が返ってきました。

私はテレビ画面選定の重要さを、改めて感じながら参観を続けました。



私はテレビ画面選定の重要さを、改めて感じながら参観を続けました。

以前は、読みたい図書を自由に選ばせていました。六年生の読書ベスト二十を調査したところ、漫画本や図鑑・ゲーム

に「課題図書・子弟図書を読もう」というフレーズが目に入り教頭先生にいろいろ質問したところ、中川小学校の読書活動を知ることができました。

中川小学校読書活動の今後に期待が持てます。中川小学校児童の皆さん、課題図書、指定図書をいっぱい読んで、知識や心を豊かにしましょう。



分厚い本が読まれるようになっている。



活字の多い本が読まれるようになっている。



当初は漫画本、図鑑やゲーム類が多く読まれていた。

に合わせたサイズを選ぶことに安全面に配慮した整備を終え決定しました。

そこで今年度は、朝の読書や図書館の本の貸し出しの点検をし、全校体制で“量より質への変換”を試みたそうです。その結果、十一月に六年生の読書調査ではベスト二十は次の写真が示すとおり、分厚い本を読むようになってきており、友達同士で、シリーズ読破や本をすすめ合う姿も見られるようになってきたそうです。

類だつたりと内容が偏った傾向にあり、活字のみの本はたつた三冊だったようです。

『先輩から後輩へ』

「私の古里」



元 東京都公立学校長

安富 昇

のことです。その頃は電灯も無し、水道も無し、自動車も無い時でしたからそのような事を言わても、さして気にはしませんでしたが、何か寂しい気持ちがあったことは確かです。

私は「君の古里は何処だ」と自問自答する時があります。「ふるさと」については、人それぞれの思いや考え方があると思いますが、私の場合は小学校六年まで育った金武が古里だと信じています。

私は、現在まで東京で二十五年、千葉県で三十年の人生を生きてきました。その他に首里で五年、軍隊生活でフィリピンと内地勤務がありました。これでは古里ではありません。金武こそ私の「ふるさと」です。

金武は終戦まで「チンヤンバル」と言わされてきました。つまり、北部の山ばかりの田舎だと

平和な時代が続き、そして第二次大戦が起り、やがて日本は劣勢に追い込まれ、昭和二十一年に敗戦になりました。沖縄戦後の金武も当然のように、戦争のために全滅の形になりました。私の頭には殆ど、何も残っていません。

なんとか形が残っている所は

ウツカガー（金武大川）、お寺と

洞窟、当山久三の銅像、小学校の校舎などです。これらは、殆ど修理か再建です。その他には

ブート岳、恩納岳が私の頭に浮かんできます。これらは沖縄の観光名所であり、県内の大人か

ら小学生にいたるまで観光に訪れて来ました。金武はこのよう

な素晴らしい自然環境に恵まれ

る」と言わせてきました。つま

てしていました。

次に、今から七十八年前の私たちと現在の皆さんとは精神面で大きな差があることを私は強く感じています。それは、当時の私たちには「引っ込み児童」だったことです。

例えば、「君は足が速いからリレーの選手になりなさい。」と先生に指名されると、「ワッタガニニチン」と、片腕を頭に置き、身をかがめて、恥ずかしそうな素振りをするのです。この「ワッタガニニチン」とは、金武の方言で「僕なんか、それ程の者ではありません。」と言う事です。

内心は嬉しいのですが？ そうしなければ、皆に済まないと言ふことです。

この消極性を取り去ることが

金武小学校の第一の目標だった

と思います。その為に、発表の機会が数多く計画実施されました。読書発表会、全校童話会、

学芸会、運動会、対外競技など

が盛んに行われました。

対外競技では、国頭郡全体のリレー大会が、沖縄県立第三中学校（県立名護高校の前身）で行われました。私が在学中に金武小学校が二回程優勝したことがありました。

現在の皆さんには、この点、昔の私どもとは比較にならないほど素晴らしい発表力をお持ちです。金武町小・中学生のスポーツ、文芸等の活躍を見聞しておりますと、昔の我々の時代とは格段の違いです。全てに感慨無量のものがあります。以上私の思いを述べました。

私の古里は金武です。誇りにしています。町民こぞって金武町の発展を目標に頑張りました。（元東京都公立学校長）



学校給食と子どもの食生活

栄養士 城田 千代

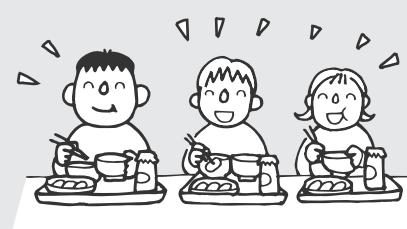
学校給食は、育ち盛りの子ども達の心と体の健康を守るために目標が定められており、教育の一環として実施されております。ですから、子ども達の好きな献立を出せばよいというわけにはいきません。

毎日の献立が、いつでも教材として栄養指導ができるようにバランス良く組み合わされています。

しかし、子ども達の現状は、食生活の洋風化にともない嗜好も揚げ物や、カレー、ハンバーグ、スペゲッティなど洋風の献立が好まれ、不足しがちな食物繊維や、カルシウム、ビタミン類が多く含まれている海藻、豆類などを使用した

和風の煮物や炒め物、和え物などの残量が目立ちます。食生活の多様化により、いつもどこでも好きなものが食べられる昨今、栄養摂取の偏りが懸念されます。

全国的な沖縄ブームとは逆に、沖縄では外食産業が盛んで、家庭料理はお袋の味から袋の味になっていると言われたりしています。外食することで、肉類や脂肪のとりすぎ、野菜不足等の要因で、長寿県沖縄にもかけりが見え始めています。昔から食べ継がれてきた郷土料理を、もっと家庭でも取り入れながら子ども達の好きな料理と組み合させて欲しいと思います。



食生活の形成に大きな影響を及ぼすこの時期に食指導の必要性を感じます。その為には、学校給食を通してバランスの良い食事のとり方を理解させ、自分の健康は自分で守る食の自己管理能力を身につけさせることが重要だと考えています。

学校給食を通してバランスの良い食事のとり方を理解させ、自分の健康は自分で守る食の自己管理能力を身につけさせることが重要だと考えています。

平成二十一年度 要保護・準要保護児童生徒援助（以下就学援助）の募集について

町教育委員会では、学校教育

法に基づき、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者に對して、学用品費・修学旅行費・給食費などの就学援助を行っています。

でも、食の基本はあくまで

対象者は次の通りです。

一、生活保護を受けている方
：要保護

二、生活保護に準じる程度に困窮している人（非課税世帯等）：準要保護

申請の提出期限や詳細については、各学校から募集案内が児童生徒に配布されますので、内容をご確認のうえ、学校へ申請して下さい。

平成二十一年度金武町教育委員会 臨時職員等の募集について

一般事務職等に従事する臨時及び委託職員を次のとおり募集します。

一、職種

(学校教育課)

- ①学校事務 ②学習支援者
- ③学校図書館司書 ④幼稚園教諭 ⑤特別支援教育支援員(ヘルパー) ⑤ＩＴ講師
- (社会教育課)
- ①清掃業務

四、受付期間

平成二一年一月十九日（月）

平成二一年二月六日（金）

※土日祝日及び業務時間外は受け付けておりません。

五、提出書類

履歴書（写真付）に納税証明書、資格を有する職種は資格証明書の写しを添えて、各担当課に提出して下さい。

六、提出先

金武町教育委員会
学校教育課

- ①臨時の任用職員は、六ヶ月以内とする。（必要に応じて更新有）
- ②委託職員及び嘱託職員は、一年以内とする。

- ③賃金職員は二ヶ月以内とする。（必要に応じて更新有）

七、その他

町内に住所を有する方を優先いたします。

平成20年度

全国公共図書館 協議会表彰

【全国公共図書館 表彰規程第二条第一項第二号】

永年図書館の事務に従事し、功労のあつた者（司書の資格を有する者で、公共図書館に勤務している者が、公共図書館、大図書室及び図書館類縁機関に勤務した期間の合計が三十年以上で功労のあつた者）

【受賞者の声】

館長のご配慮に感謝申し上げます。三十年勤続への予期せぬ表彰に複雑な思いです。学校・公共図書館司書採用が厳しい現状ですが、今後も学校・公共図書館の発展が図られることを願い、新たな気持ちで図書館サービスに努めたいと思います。

【館長コメント】

三人は、学校図書館及び町立図書館に長年勤務し、金武町の読書活動の礎を築き推進に寄与した。

常に利用者の立場に立ちサービスの向上に努めた。奉仕精神と謙虚な勤務態度で、質のよいサービスを提供することができ利用者からの評判もよい。

今回の受賞を職員一同大変喜んでおり、さらにきめ細かい図書館サービスができるようになり気持ちを新たにしているところである。



平田 幸子



大城 美江子



宣野座 悅子

(写真・小橋川司さん)



国頭地区PTA表彰 おめでとうございます。

(土) 大宜味村において開催された平成二十年度国頭地区PTA研究大会にて、金武中学校PTAの小橋川司氏・富山秋男氏の二名がこれまで小学校・中学校で頑張ってきたPTA活動が認められ表彰を受けました。おめでとうございます。

十一月二十九日 十一月二十九日



県大会へ出場

平成二十年十一月十日に金武町で開催された国頭地区小中学在校童話・お話・意見発表大会において、金武中学校三年・渡嘉敷恵里さんが見事最優秀賞に選ばれ、国頭地区代表として十二月五日の県大会出場を果たしました。金武町からの県大会出場は久しぶりの事で、渡嘉敷恵里さんのこれから活躍にも期待が持たれます。

冬の夜空に響く子ども達の歌声



平成二十年十二月十九日、ネイチャーグループで、金武町少年少女合唱団の定期公演であるリトルコンサートが、初の野外コンサートを開催しました。



客席周辺には焚き火を準備、燃えあがる炎が幻想的な雰囲気をつくり、その中で歌う金武町少年少女合唱団とゲスト出演したうるま市と名護市の少年少女合唱団の子ども達がコンサートを盛り上げていました。コンサートの間に、冬の星空のお話しがあつたり、趣向を凝らしたとても楽しいひと時となりました。

合唱団の子ども達と関係者の皆様、素敵なおコンサートありがとうございました。

第4回

金武町読書フェスティバル

テーマ 子どもと楽しむ読書
のひととき

とき 二〇〇八年十一月三日（月）文化の日

場所 金武町立図書館
来賓者 百十二名以上

やせる活動を継続していきた
い。

【参加者感想】

① 大変素晴らしいフェスティバルでした。

今子育てを終えていますが、

これからはバーバーとしての
絵本の読み聞かせをしていく
楽しみができそうです。

【館長コメント】
講演会や金武町の民話伝説
から「オランダ森とエーグ石」
の紙芝居を並里区方言収録委
員会との共同による実演、学
校読み聞かせボランティアに
よる絵本読み聞かせと町史編
纂室文化財担当職員による宿
道のパネル展示説明など数多
くのプログラムで読書フェス
ティバルを開催した。悪天候
の中、百二十名以上の参加者
があり大変喜んでいます。これ
からも金武町の読書人口を増

子ども達のキラキラした目
は、とてもステキでした。

【職員コメント】

紙芝居や読み聞かせの後、
講演中は、子どもを対象にし
たお話の部屋を開催した。今
回は、子どもも一緒に参加し、
演者と子ども、双方で作り上
げる内容を企画した。「はだ

かの王さま」や「ポケットク
イズマン」、「じゃんけんピヨ
ン」のパネルシアター、ミッ
キーマウスの絵かき歌など、
子ども達は最後まで楽しく参
加していました。これからも子
ども本をつなぐ掛け橋ができ
るような活動を続けていきた
い。

現在ではあまり見かけな
くなりましたが、ミシンを
外しテーブルとして再利用
したり、シンプルな作りで
使い勝手が良いということ
で、今でも現役で使つてい
る人もいます。

足踏み式ミシン

「モノ」にみる暮らしの風景

紙芝居や読み聞かせの時の

③初めてフェスティバルに参加
しました。三人の子ども達を
つれて毎週末図書館を利用し
ています。



第42回 金武町駅伝競走大会

1月18日金武町営グラウンド・金武地区公園で、第42回金武町駅伝競走大会が開催されました。一般の部、小学生の部を含め多くの参加者がグラウンドを駆け抜けました。大会では、各チームが一本のタスキをつなぎ、ゴールを目指して精一杯の走りを見せました。その姿に、チームメイトや父兄等から声援が飛び交っていました。春を思わせるような暖かさの中、選手達は気持ちのいい汗を流していました。尚、競技結果は次のとおりです。

第42回金武町駅伝競走大会結果

※小学生の部

優勝	金武ジュニアスターズB	0:23:38
2位	金武ジュニアスターズA	0:24:30
3位	ヴィクトリーキッズC	0:24:44

※小学生区間賞

区	チーム名	氏名	記録
1区	金武ジュニアスターズA	吉田 海斗	0:03:45
2区	ヴィクトリーキッズC	仲田 昂平	0:03:53
3区	金武ジュニアスターズB	渡慶次 悠介	0:03:42
4区	金武ジュニアスターズB	平川 翔	0:03:46
5区	金武ジュニアスターズB	仲間 翔太郎	0:03:43
6区	金武ジュニアスターズB	城間 裕喜	0:03:40

※各1.03km



スタート前



タスキを受け渡す様子

ご寄付

池原米子様（金武町字金武七六
八一四番地）から金武町育英会に
十五日に教育委員会へ来庁され、
池原さんは平成二十年十二月二
金一封の寄付をいただきました。
「育英会のためにご活用くださ
い」と言葉を添えられ、寄付金を
手渡されました。本会運営のため
の資金としてつっしんで使わせて
頂きました。誠にありがとうございます。

体育協会からお知らせ

サッカー好きのみなさん、お待たせしました!! 第31回金武町ミニサッカー大会がいよいよはじまります。ただいま、小学生の部と一般の部（中学生以上）の参加チームを募集しています。

とき：平成21年2月22日（日）AM9時～

ところ：金武町営グラウンド

参加料：1チーム・1,200円（保険料）

申込み：2月17日までに町立体育館へ申込書と参加料を提出

※参加申込みは先着順となります。（一般の部18チーム）

『子どもの話に 耳を傾けよう。』

きょう、少し
あなたの子どもが言おうとして
いることに耳を傾けよう。
きょう、聞いてあげよう、あなた
がどんなに忙しくても。

子どもの悩みや要求を聞いてあげよう。

どんな些細な勝利の話も、どんなささやかな行いも褒めてあげよう。
子どもに何があつたのか、何を求めているかを見つけてあげよう。
そして言ってあげよう、愛していると。毎晩毎晩。
しかつた後は必ず抱きしめてやり、「大丈夫だ」と言ってやろう。

その結果、『育む・・養い育てる』。「羽包（くく）む」の意味から親鳥がその羽で雛をおおいつつむ』に決まりました。
その中から「羽包（くく）む」が採択され、羽を鳥の羽の絵でわせて表そうということで、四点見本を用意し、教育委員の方々と金武町教育委員全職員にその中から選んでもらいました。

この結果、今回のこのようないくつかの図案と柄になりました。

この題名の背景は鳥々が雄々しく羽ばたいている様を表現し

広報名が決まりました

てあります。

そして、鳥の羽が枠からはみ

せられた方々の、金武町児童生徒への教育に対する厚い思いに對し心強く思いました。衷心より感謝申し上げます。金武町教育委員会では教育委員等々確たる方々と数回にわたり検討してきました。

これは、児童生徒たちが保護者や地域の方々から温かく包み込まれ、育まれ、そして、巣立つ、羽ばたく、飛躍する、自立する等々の意味が込められています。

今回この「広報名」決めるにあたり、「いちやりば工房」とい

うお店で、デザインや印刷業を生業としている「伊芸守」さんにお願いしました。左の図案は候補に挙がっていた中の一つです。これから幼児向けに活用できればと考えています。

今年初の「くくむ」は拡大版として発行することになりました。どうぞご覧下さい。

それと、今年度より設置された分析検討委員会は、報告のための委員会にせず、徐々にでも着実な学力向上に繋げるために、具体的に、教育行政や学校、地域が連携をとり、支援していくこうと分析検討委員会を重ねているところで、近々分析検討委員会のまとめを特集号として発行します。

編集後記

金武町教育委員会「広報」も昨年より始まり、その間、仮称「広報」から「くくむ」に替わりました。

平成二十一年の新たな年を迎え、創刊からこれまでを振り返りますと、感慨深いものがあります。

